

## ま え が き



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は平成16年度当初予算と平成15年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

平成16年度当初予算の編成は、地方自治体の歳入の大きな柱である実質的な地方交付税の未曾有の大幅削減という状況の下で行われました。これは、今年度の地方財政計画が国の財政再建を優先させ、地方歳出の削減を突出させるという「地方分権改革」の流れとは程遠い内容であったことによるものであります。

本県の財政状況は、県税収入に微かな明るさが見られるものの、この地方財政計画に伴い交付税収入が大幅に落ち込む一方、平成4年度以降国の経済対策に呼応し積極的な公共投資を行ってきたことにより累増した県債の償還が本格化するなど、かつてない厳しい状況に直面しております。

このため、一昨年末にとりまとめた「新行財政改革大綱」に基づき、鋭意取組んでいる行財政改革の歩みを一層加速させるとともに、歳入・歳出全般にわたる徹底した見直しや道路事業における1.5車線の整備など地域の実状にあった効率的・効果的な社会資本整備を図るという工夫も行いました。最終的には基金の大幅な取り崩しに頼らざるを得ませんでした。中小企業・雇用対策、環境施策、安全・安心の確保や少子化時代に対応した施策などに重点を置き、県民の皆様が必要とされる行政サービスの質、水準を確保するとともに二十一世紀における本県発展の礎を築くための予算編成を行ったところであります。

皆様の忌憚のないご批判と一層のご協力をお願い申し上げます次第です。

平成16年 6 月 1 日

石川県知事 谷 本 正 憲